

※この「NEWSおりお」は折尾地区総合整備事業の進捗状況等を地域の皆様にお知らせするため発行しています。

折尾地区総合整備事業は、学園都市としての魅力あるまちづくりのため、また、北九州学術研究都市の玄関口にふさわしい交通拠点の形成のため、折尾地区の交通環境の改善や交通結節機能のさらなる向上、駅南側の住環境の改善、まちの一体化などに取り組み、折尾地区を広域拠点として再構築を図ります。

本事業は、鉄道の高架化を行う「連続立体交差事業」、幹線道路の拡幅や駅前広場の整備を行う「街路事業」、住環境の改善を図る「土地区画整理事業」の3つの事業を一体的に行うもので、令和7年度(2025年度)の完了を目指して事業を進めています。

市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ案をとりまとめました。

折尾駅周辺の高架工事等の進捗などにより、街の姿が大きく変わっていくにつれ、地元では、まちづくりに向けた期待が高まるとともに、高架下を含めた駅周辺のにぎわいづくりや地域全体の活性化への要望などが寄せられています。市としては、高架下及び駅周辺の土地は、新たに生み出される貴重な空間であることから、市が実施した高架下利用アンケート調査や、八幡西区議員協議会からの申し入れ等を踏まえ、この度、市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ案を作成しました。

今後、土地活用イメージの実現に向けて、関係機関との協議や南側駅前広場に近接するエリアの地権者との勉強会などに取り組んで行く予定です。



折尾駅駅前広場の整備計画を作成しました。

駅前広場については、鉄道とバスの乗り継ぎや自家用車による送迎などがスムーズになり、また、駅周辺がまちの顔として新しく生まれ変わるなど、魅力的でにぎわいのある街づくりに大きく寄与するものです。

この度、おりお未来21協議会や学識経験者、障害者福祉団体、警察、交通事業者などの意見を伺いながら駅前広場の計画をまとめました。

駅前広場の計画の概要

(1) 規模

- ・北側 9,800㎡、南側 8,020㎡、合計約18,000㎡

(2) 基本方針

- ・「交通機能」と「交流・シンボル機能」の二つの機能を持った駅前広場とする。

(3) 交通機能の配置方針

○地域の交通実態に即した、利用しやすい駅前広場とする。

- ・バスは南側に集約し、分かりやすくする。
- ・北側は一般車とタクシーが利用するものとし、送迎しやすい駅前広場とする。

【期待される効果】

- ・交通量の多い交差点でのバスの右左折が減り、定時制、速達性が確保される。
- ・駅北側から学園大通り間の歩行者の安全性が高まる。
- ・折尾中間線など周辺道路への送迎車両の路上駐車を抑制できる。
- ・南側利用者が増え、南側周辺への民間投資が進み、活性化につながる。

(4) 交流・シンボル機能の配置方針

○新しい市街地の発展に寄与する広場とする。

- ・イベントを通じたまちの活性化
- ・学生や近隣住民が憩える場の提供
- ・「学園都市」の名にふさわしい、豊かな景観形成によるまちのイメージ向上

【期待される効果】

- ・駅前広場を核として、まちの価値を高めていく。

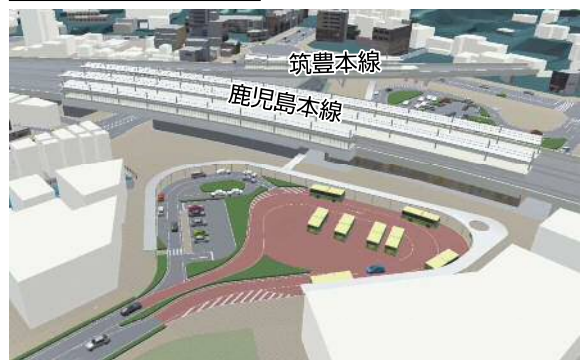
〈駅前広場の整備時期（予定）〉

- ・北側駅前広場 令和3年度～4年度
- ・南側駅前広場 令和5年度～6年度

北側駅前広場イメージ



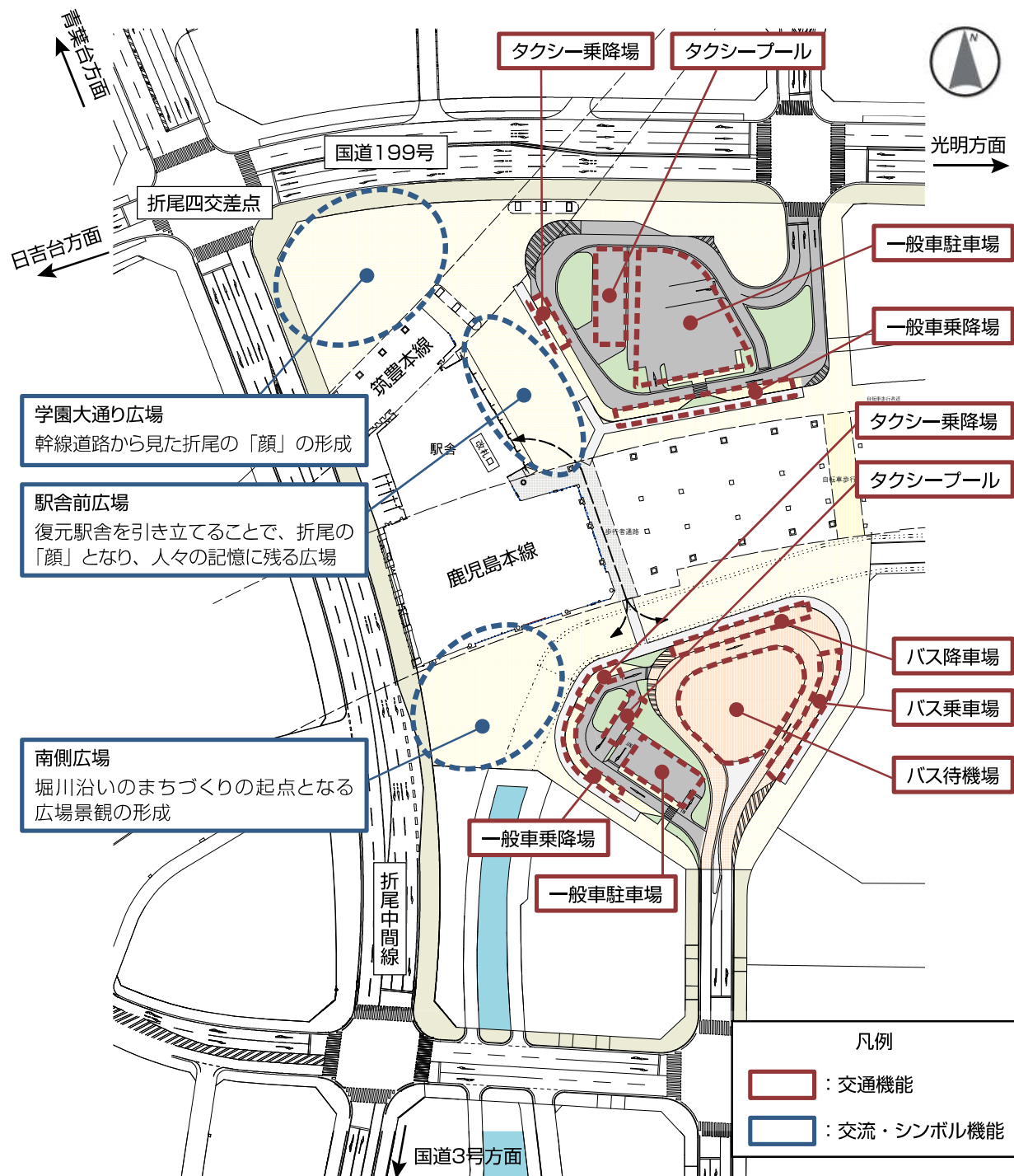
南側駅前広場イメージ



※このイメージは、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。

折尾駅駅前広場 計画図

※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。



歩行者通路イメージ



南側駅前広場バス乗降場イメージ



※このイメージは、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。

ニュースおりおQ & A

折尾地区総合整備事業の進捗に伴い、折尾駅周辺では着々と工事が進んでいます。
今回、地域の皆さまから、よくあるお問い合わせについてまとめました。

Q1 改札口は、どこにできますか？

- A1** ・新しい駅舎は、鹿児島本線と筑豊本線の高架橋の間にできます。
改札口は北側駅前広場に面し、鹿児島本線高架橋側の南側駅前広場に近い場所にできる予定です。
(3ページの折尾駅駅前広場計画図をご覧ください。)

Q2 折尾駅の改札口は、東口と西口、鷹見口の3カ所所有りましたが、新しい改札口は、なぜ1カ所なのですか？

- A2** ・以前の折尾駅は、駅舎が2カ所に、改札口が3カ所に別れており、わかりにくく不便でした。
(現在は工事に伴って改札口が北口に1カ所増え4カ所になっています。)
- ・新しい折尾駅は駅舎と改札口を1カ所に集約し、各ホームへ1本の通路で移動できるようになるので便利でわかりやすい駅になります。

Q3 バス停は、なぜ、南側の駅前広場に集めるのですか？

- A3** ・バス停を1カ所に集めることで、初めて利用する人でもわかりやすくなります。
- ・折尾駅へのバスのうち、半数以上を占める駅の北側方面からのバスが、混雑する折尾4丁目交差点で直進できるのでスムーズに運行できます。
- ・駅の南側に人の流れができるので、高架下や南側駅前広場の周辺で土地活用が進み、魅力的でにぎわいのあるまちづくりが期待できます。
また、魅力的な店ができれば、バスを待つ環境も良くなります。
- ・北側は、一般車やタクシーなどがスムーズに利用でき、送迎しやすい駅前広場になります。

なお、折尾駅バス停は、以前は鹿児島本線の南側の駅前広場にありました。
現在のバス停は線路の高架化工事に伴い一時的に移転したものです。
令和3年度から予定している北側駅前広場の工事に伴い、再び他の場所に移転する予定で、最終的には、以前バス停があった南側の駅前広場に戻る予定です。

お願い

折尾地区総合整備事業で、都市計画決定している道路や土地区画整理事業の区域内において、建築物の建替えや新築、増築等を行う場合は、都市計画法や土地区画整理法による許可が必要です。
計画のある方は、事前にご相談いただきますようお願いいたします。
また、土地建物の売買や相続で権利の変更がある場合も、ご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

北九州市 建築都市局 折尾総合整備事務所

住 所：807-0834 北九州市八幡西区北鷹見町13-10 オリオンプラザ2階
計画課、区画整理事業課 TEL 093-602-3108
工 事 課 TEL 093-691-2522 / FAX 093-602-3128
e-mail : toshi-keikaku@city.kitakyushu.lg.jp

[折尾地区総合整備事業ホームページ](#)

[折尾地区総合整備事業](#)

[検索](#)

1915006C

リサイクル適性 